

CYBERNET

証券コード4312

サイバネットシステム株式会社

2022年12月期第1四半期決算補足資料

2022年5月11日



1

2022年12月期第1四半期決算説明

2

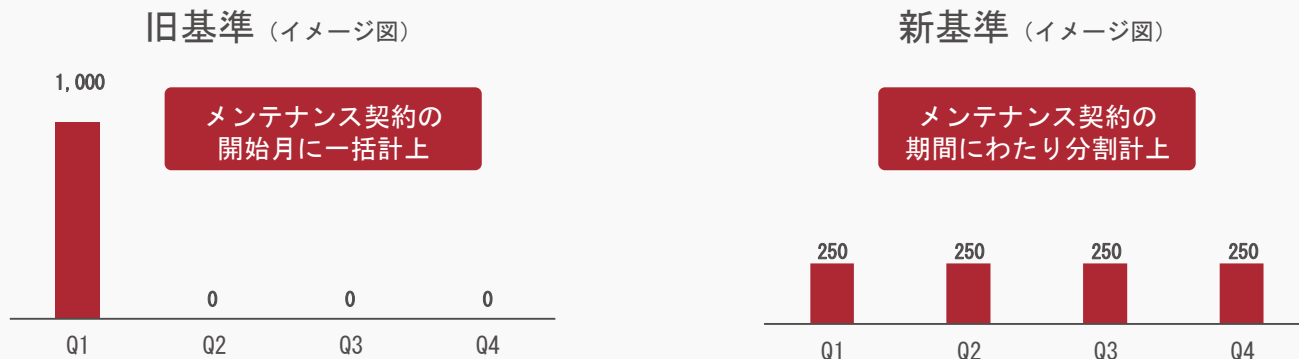
2022年12月期予想

3

参考資料

「収益認識に関する会計基準」等の適用について

- 当第1四半期連結会計期間の期首から、「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。）等を適用。
- これにより、代理店事業のソフトウェアのメンテナンスサービス（新規契約のうちの一部、及び、更新契約の全額）については、従来、主として契約開始時点で収益を認識していましたが、契約期間にわたり収益を認識する処理に変更。
- 収益認識会計基準等の経過措置を適用し、過年度の遡及修正は行っていないため、本資料における財務数値の前期比および前期差は参考値（一部、個別の売上高は遡及修正した数値を開示）。



2022年12月期第1四半期の業績

単位：百万円

- 売上高は、ITセグメントが成長したものの、Synopsys社との販売代理店契約終了の影響により減収。
- 営業利益は、売上高の減少の影響により減益。

	21/12期 Q1 [旧基準]	22/12期 Q1 [新基準]	前期比	22/12期 Q1 計画 [新基準]	計画比
売上高	5,160	4,636	-10.2%	4,600	+0.8%
売上総利益	2,107	1,923	-8.7%	-	-
販売費および 一般管理費	1,456	1,451	-0.3%	-	-
営業利益	651	471	-27.6%	380	+24.2%
(営業利益率)	12.6%	10.2%	-	8.3%	-
経常利益	638	446	-30.1%	380	+17.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	408	263	-35.4%	240	+9.9%
EBITDA	713	531	-25.5%	455	+16.9%
(EBITDAマージン)	13.8%	11.5%	-	9.9%	-
EPS (円)	13.10	8.48	-35.3%	7.70	+10.1%

※ 収益認識会計基準等の経過措置を適用（参照P.3）し、過年度の遡及修正は行っていないため、前期比は参考値。

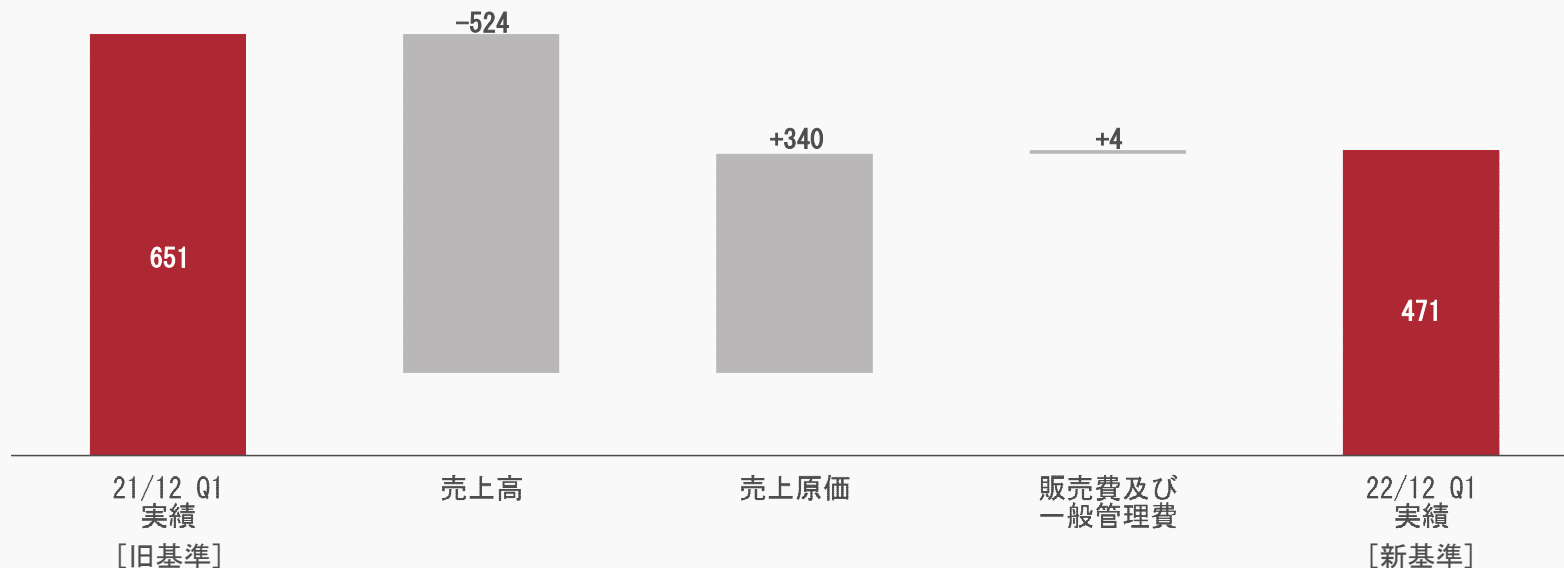
※ シミュレーション：シミュレーションソリューションサービス事業

※ IT：ITソリューションサービス事業

※ EBITDA：営業利益 + 減価償却費

営業利益の増減要因（前期差）

- 売上高の減少に伴い売上原価は減少。販売費及び一般管理費は前期と同程度となり、減益。



※ 収益認識会計基準等の経過措置を適用（参照P.3）し、過年度の遡及修正は行っていないため、前期差は参考値。

単位：百万円

収益認識会計基準等の影響

- 売上高で573百万円増加、営業利益で297百万円増加の影響。

単位：百万円

	22/12期 Q1 [旧基準]	影響額			22/12期 Q1 [新基準]
		シミュレーション	IT	合計	
売上高	4,062	+595	-21	+573	4,636
売上原価	2,435	+306	-30	+276	2,712
売上総利益	1,626	+288	+8	+297	1,923
販売費および 一般管理費	1,451	-	-	-	1,451
営業利益	174	+288	+8	+297	471

651

- ※ シミュレーション：シミュレーションソリューションサービス事業
- ※ IT：ITソリューションサービス事業

セグメント別売上高・営業利益の状況

単位：百万円

シミュレーションセグメント

- 主力製品の新規ライセンス販売やMBSEなどのエンジニアリングサービスは好調に推移するも、Synopsis社との販売代理店契約が終了した影響により減収減益。

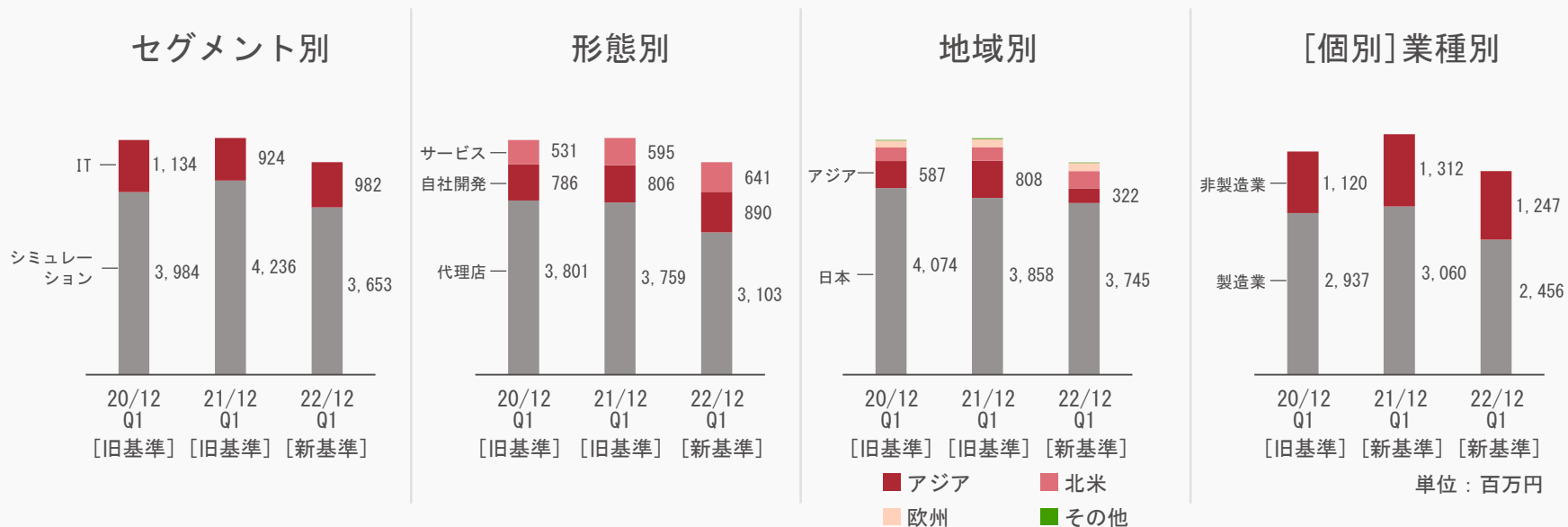
	21/12期 Q1 [旧基準]	22/12期 Q1 [新基準]	前期比
売上高	5,160	4,636	-10.2%
シミュレーション	4,236	3,653	-13.8%
IT	924	982	+6.3%
調整額	-	-	-
営業利益	651	471	-27.6%
シミュレーション	904	655	-27.5%
IT	103	142	+37.4%
調整額	-356	-326	-

ITセグメント

- クラウド環境向けセキュリティソリューションの販売が好調に推移したこと等により増収増益。

- ※ 収益認識会計基準等の経過措置を適用（参照P.3）し、過年度の遡及修正は行っていないため、前期比は参考値。
- ※ 当第1四半期から、報告セグメントの名称について、「CAEソリューションサービス事業」は「シミュレーションソリューションサービス事業」へ変更。また、セグメントの区分を変更し、前年同期の実績は変更後のセグメント区分により記載。
- ※ シミュレーション：シミュレーションソリューションサービス事業
- ※ IT：ITソリューションサービス事業

売上高構成の状況

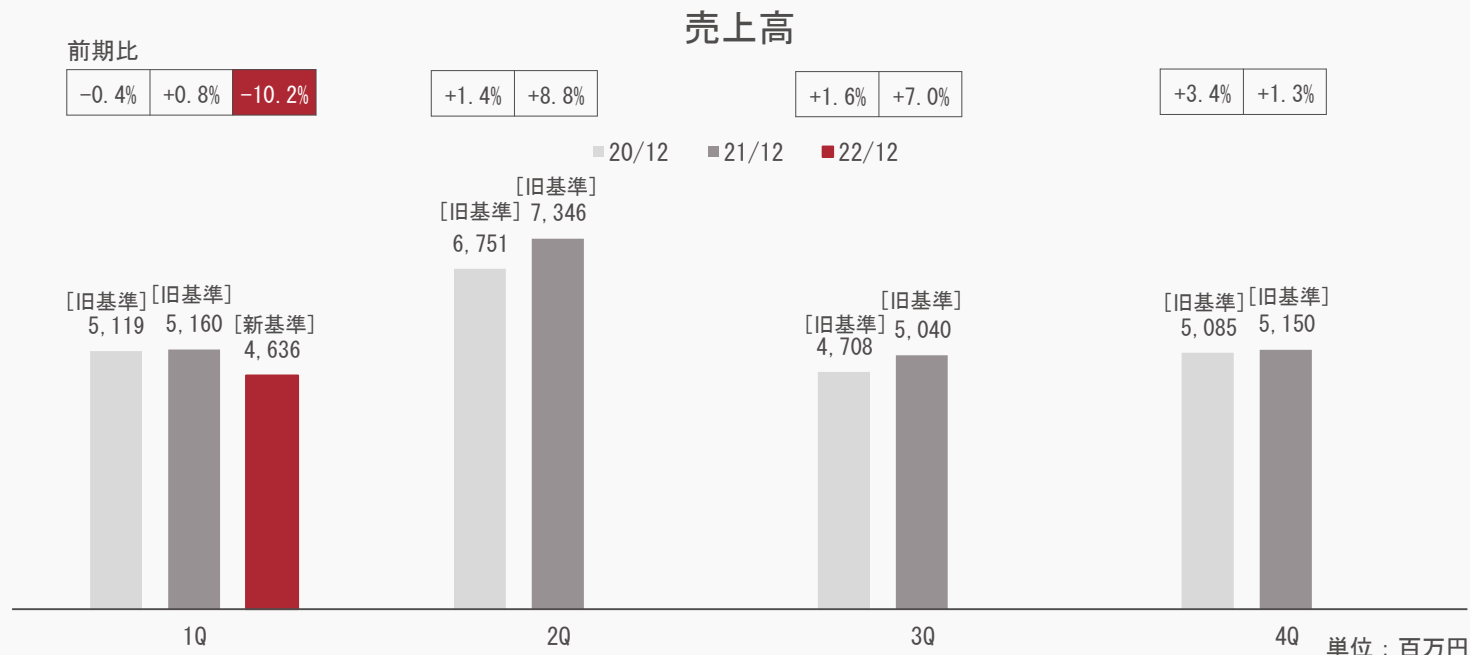


※ 収益認識会計基準等の経過措置を適用（参照P.3）し、過年度の遡及修正は行っていないため、前期値および前々期値は旧基準。

※ 当第1四半期から、報告セグメントの名称について、「CAEソリューションサービス事業」は「シミュレーションソリューションサービス事業」へ変更。また、セグメントの区分を変更し、前年および前々年同期の実績は変更後のセグメント区分により記載。

売上高の四半期推移

■ Synopsys社との販売代理店契約終了の影響により前期比-10.2%。



※ 収益認識会計基準等の経過措置を適用（参照P.3）し、過年度の遡及修正は行っていないため、前期比は参考値、前期値および前々期値は旧基準。

バランスシートの状況

- 金融資産は1,202百万円減少、純資産は1,378百万円減少、自己資本比率は62.8%。
- 親会社への貸付金（親会社のCMS（キャッシュ・マネジメント・システム））の回収により、短期貸付金は3,579百万円減少。
- 収益認識会計基準等の適用に伴い、株主資本に含まれる利益剰余金の期首残高が911百万円減少したこと等により、株主資本は1,367百万円減少。

※ 金融資産：現金及び預金、有価証券、短期貸付金の合計

単位：百万円

	21/12末 [旧基準]	22/12 Q1末 [新基準]	前期末差
流動資産	21,526	20,593	-932
金融資産(※)	16,009	14,806	-1,202
現金及び預金	7,429	7,806	+377
有価証券	5,000	7,000	+2,000
短期貸付金	3,579	-	-3,579
固定資産	1,744	2,025	+280
資産合計	23,270	22,618	-651
負債合計	7,538	8,264	+726
流動負債	6,472	7,223	+751
固定負債	1,065	1,040	-25
純資産合計	15,732	14,354	-1,378
株主資本	15,287	13,920	-1,367
負債純資産合計	23,270	22,618	-651
自己資本比率	66.3%	62.8%	-3.5pt

キャッシュ・フローの状況

営業活動によるCF

- 税金等調整前当期純利益の減少等により前期比マイナス。

投資活動によるCF

- 貸付金の回収による収入の増加により前期比プラス。

財務活動によるCF

- 自己株式の取得による支出の増加、配当金の増加により前期比マイナス。

単位：百万円

	21/12期 Q1	22/12期 Q1	前期差
営業キャッシュ・フロー	-105	-460	-355
投資キャッシュ・フロー	633	3,472	+2,839
財務キャッシュ・フロー	-453	-836	-383
現金・現金同等物の期末残高	10,560	14,708	+4,147

セグメント別形態別売上高

単位：百万円

	21/12期 Q1		22/12期 Q1		前期比
	実績 [旧基準]	構成比	実績 [新基準]	構成比	
売上高	5,160	100.0%	4,636	100.0%	-10.2%
シミュレーション	4,236	82.1%	3,653	78.8%	-13.8%
代理店	2,936	56.9%	2,257	48.7%	-23.1%
自社開発製品	726	14.1%	806	17.4%	+11.0%
サービス	573	11.1%	589	12.7%	+2.8%
IT	924	17.9%	982	21.2%	+6.3%
代理店	823	15.9%	846	18.3%	+2.9%
自社開発製品	79	1.5%	84	1.8%	+5.7%
サービス	21	0.4%	51	1.1%	+140.0%

※ 収益認識会計基準等の経過措置を適用（参照P.3）し、過年度の遡及修正は行っていないため、前期比は参考値。

※ 当第1四半期から、報告セグメントの名称について、「CAEソリューションサービス事業」は「シミュレーションソリューションサービス事業」へ変更。また、セグメントの区分を変更し、前年同期の実績は変更後のセグメント区分により記載。

形態別売上高

単位：百万円

	21/12期 Q1		22/12期 Q1		前期比
	実績 [旧基準]	構成比	実績 [新基準]	構成比	
代理店	3,759	72.8%	3,103	66.9%	-17.4%
自社開発製品	806	15.6%	890	19.2%	+10.5%
サービス	595	11.5%	641	13.8%	+7.8%
合計	5,160	100.0%	4,636	100.0%	-10.2%

※ 収益認識会計基準等の経過措置を適用（参照P.3）し、過年度の遡及修正は行っていないため、前期比は参考値。

地域別売上高

単位：百万円

	21/12期 Q1		22/12期 Q1		前期比
	実績 [旧基準]	構成比	実績 [新基準]	構成比	
日本	3,858	74.8%	3,745	80.8%	-2.9%
アジア	808	15.7%	322	7.0%	-60.1%
北米	298	5.8%	377	8.2%	+26.5%
欧州	176	3.4%	176	3.8%	+0.0%
その他	18	0.4%	13	0.3%	-28.3%
合計	5,160	100.0%	4,636	100.0%	-10.2%

※ 収益認識会計基準等の経過措置を適用（参照P.3）し、過年度の遡及修正は行っていないため、前期比は参考値。

[個別]業種別売上高

単位：百万円

	21/12期 Q1		22/12期 Q1		前期比
	実績 [新基準]	構成比	実績 [新基準]	構成比	
電気機器	1,040	23.8%	773	20.9%	-25.6%
機械・精密機器	696	15.9%	490	13.2%	-29.6%
輸送用機器	555	12.7%	497	13.4%	-10.4%
その他製造業	766	17.5%	694	18.7%	-9.5%
教育・官公庁	329	7.5%	366	9.9%	+11.3%
情報・通信	260	6.0%	228	6.2%	-12.3%
その他	722	16.5%	652	17.6%	-9.7%
合計	4,372	100.0%	3,703	100.0%	-15.3%

※ 前年同期の実績は、収益認識会計基準で算出した、実績を比較するための参考情報。

[個別] 契約形態別売上高

単位：百万円

	21/12期 Q1		22/12期 Q1		前期比
	実績 [新基準]	構成比	実績 [新基準]	構成比	
ライセンス形態	3,618	100.0%	2,989	100.0%	-17.4%
新規契約	1,106	30.6%	1,032	34.5%	-6.7%
更新契約	2,512	69.4%	1,957	65.5%	-22.1%
ライセンス形態以外	754		714		-5.3%
合計	4,372		3,703		-15.3%

※ 前年同期の実績は、収益認識会計基準で算出した、実績を比較するための参考情報。

1

2022年12月期第1四半期決算説明

2

2022年12月期予想

3

参考資料

2022年12月期 業績予想

- Synopsys社との販売代理店契約が2021年10月1日を以って終了したことで、2022年12月期は減収減益を計画。
- 販売代理店事業は減収も、自社開発製品、モノづくりのお客様のDX支援の増収を見込む。

単位：百万円

	21/12期 実績 [旧基準]	22/12期 予想 [新基準]	前期比
売上高	22,697	20,000	-11.9%
営業利益	2,830	1,800	-36.4%
（営業利益率）	12.5%	9.0%	-
経常利益	2,822	1,800	-36.2%
親会社株主に帰属する当期純利益	1,786	1,150	-35.6%
EBITDA	3,072	2,100	-32.7%
（EBITDAマージン）	13.5%	10.5%	-
EPS（円）	57.29	36.87	-35.6%
ROE	12.0%	7.4%	-

※ EBITDA：営業利益 + 減価償却費

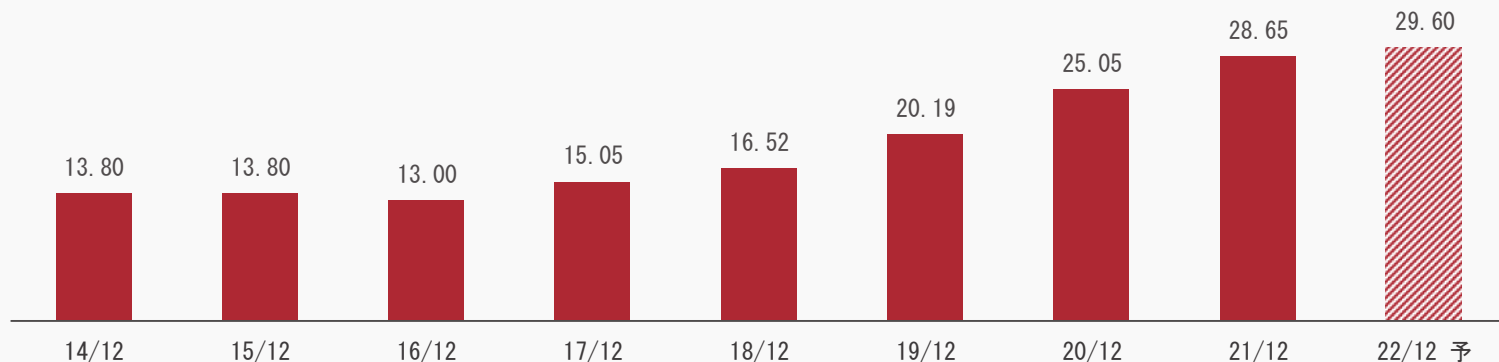
※ 収益認識会計基準等の経過措置を適用（参照P.3）し、過年度の遡及修正は行っていないため、前期比は参考値。

2022年12月期 配当予想

■ 1株当たり29.60円の配当を予定。

株主還元に関する基本方針：株主の皆様に対する利益還元を経営上の重要課題と位置付け、財務の健全性を維持しながら、資本効率を高める。配当は、当面の間、安定配当と継続的な増配を重要視し、「親会社株主に帰属する当期純利益」の範囲を原則として、純資産（自己資本）配当率（DOE）6.0%を配当金額の目安とする。

配当額



1

2022年12月期第1四半期決算説明

2

2022年12月期予想

3

参考資料

会社概要

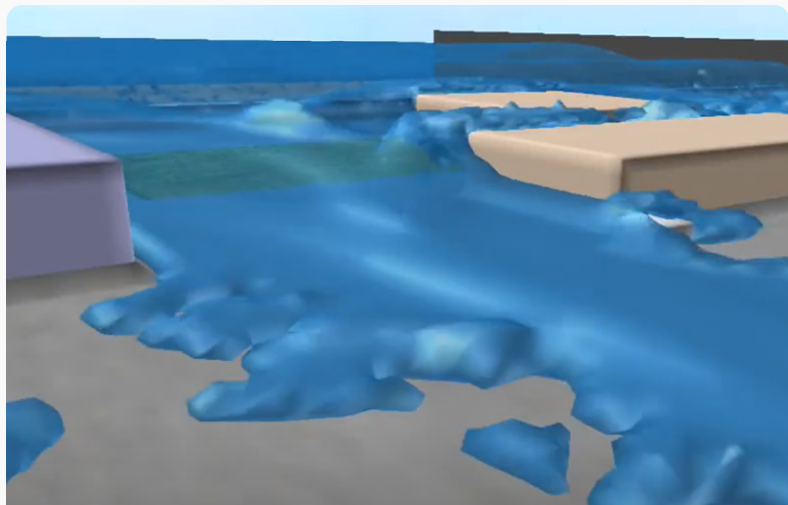
名称	サイバネットシステム株式会社（東証スタンダード市場 4312） Cybernet Systems Co., Ltd.
本社	東京都千代田区神田練堀町3番地 富士ソフトビル
拠点	西日本支社（大阪）、中部支社（名古屋）
設立	1985年4月17日
資本金	995百万円
代表者	代表取締役 安江 令子
社員数	573名（連結）、350名（単体）（2021年12月31日現在）
事業内容	<ul style="list-style-type: none">• CAEソリューション、ITソリューション、AR/VR・可視化ソリューション、ビッグデータソリューション分野の科学技術計算ソフトウェアの販売・開発• IoT/デジタルツイン/AI構築支援サービス• 各種エンジニアリングサービス
開発元提携先	Ansys社、Broadcom社など米国中心に35社以上
連結子会社	<p>【国内子会社】</p> <ul style="list-style-type: none">• サイバネットMBS E株式会社 <p>【開発子会社】</p> <ul style="list-style-type: none">• Sigmetrix, LLC（米国）• Maplesoft（カナダ）• Noesis Solutions NV（ベルギー） <p>【販売子会社】</p> <ul style="list-style-type: none">• 莎益博工程系統開発(上海)有限公司（中国）• 思渤科技股份有限公司（台湾）• CYBERNET SYSTEMS MALAYSIA SDN. BHD.（マレーシア）

当社はシミュレーションのリーディングカンパニーを目指します。

当社のシミュレーション技術は、**モノづくりの開発・設計工程**において、コンピュータ上で数値シミュレーションを行い、製品の性能や信頼を予測することで、**試作回数の削減、開発スピードの短縮、コストダウン、イノベーション**に貢献しています。**モノづくりに限らず**、サステナビリティ等の社会課題の解決においても、シミュレーション技術が不可欠であり、活躍の場を広げています。



様々な領域でシミュレーションが活用されています。



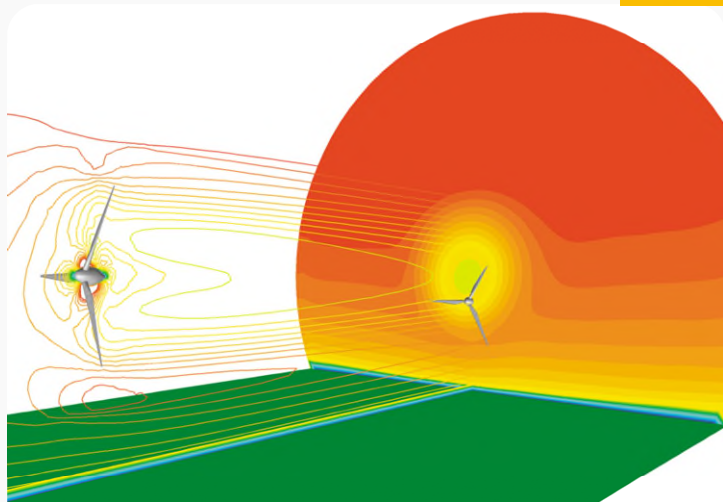
津波のシミュレーション結果を可視化し、
災害の影響を再現



ドローンの振動およびブレード形状の最適な設計に貢献

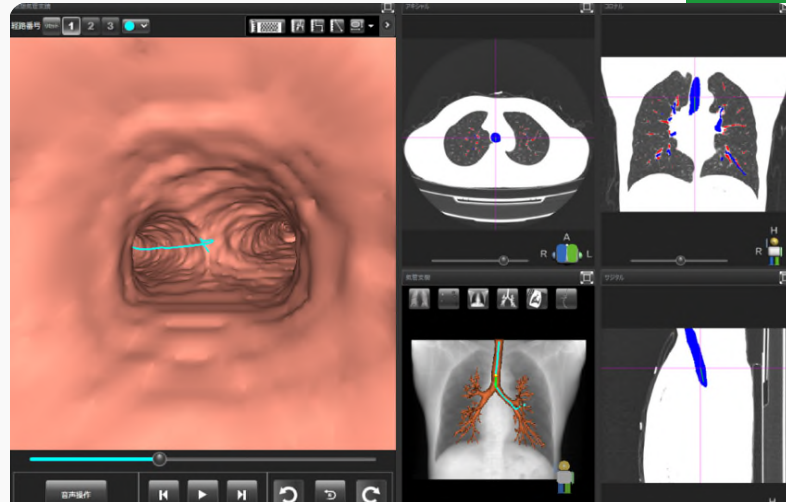
シミュレーションはサステナビリティの実現には不可欠な技術です。

7 エネルギー効率を
もってタービンに



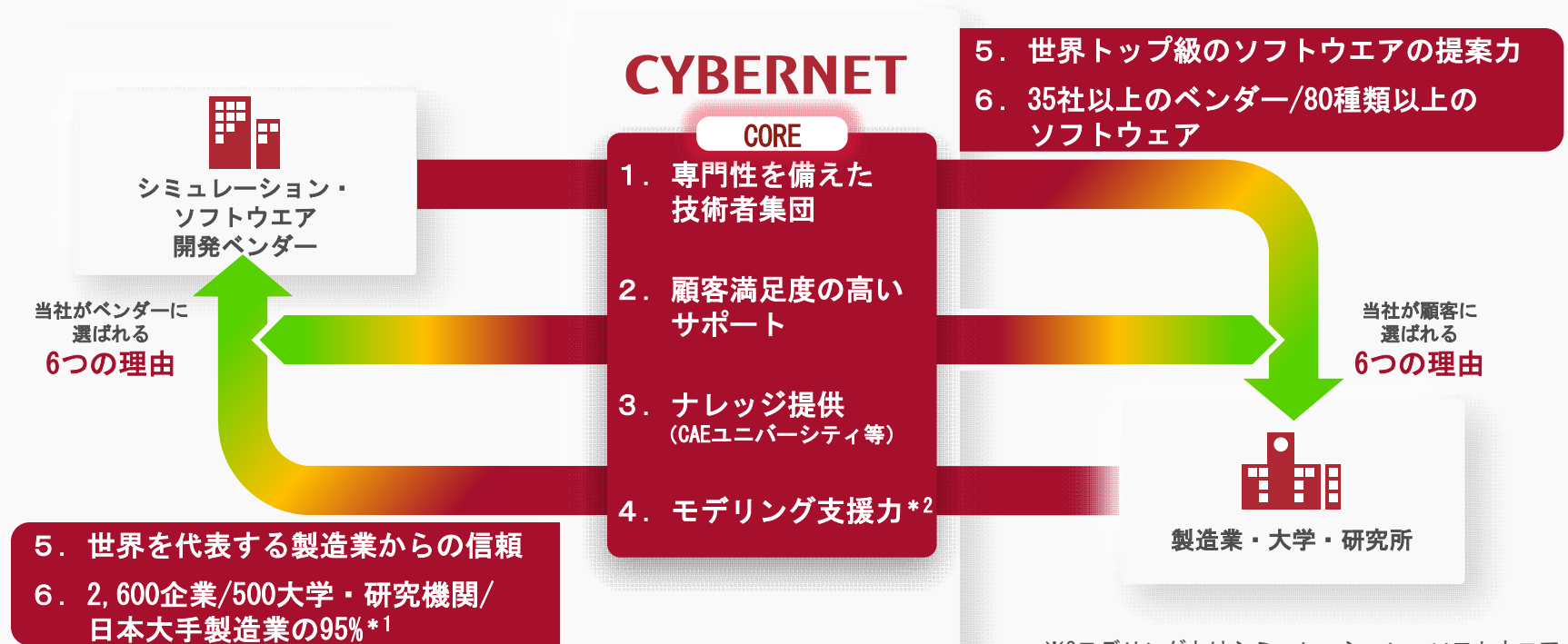
風力発電装置の発電効率、安全性向上に貢献

3 すべての人に
健康と福祉を



内視鏡検査結果をリアルタイムに合成表示することで
医師の診断を支援

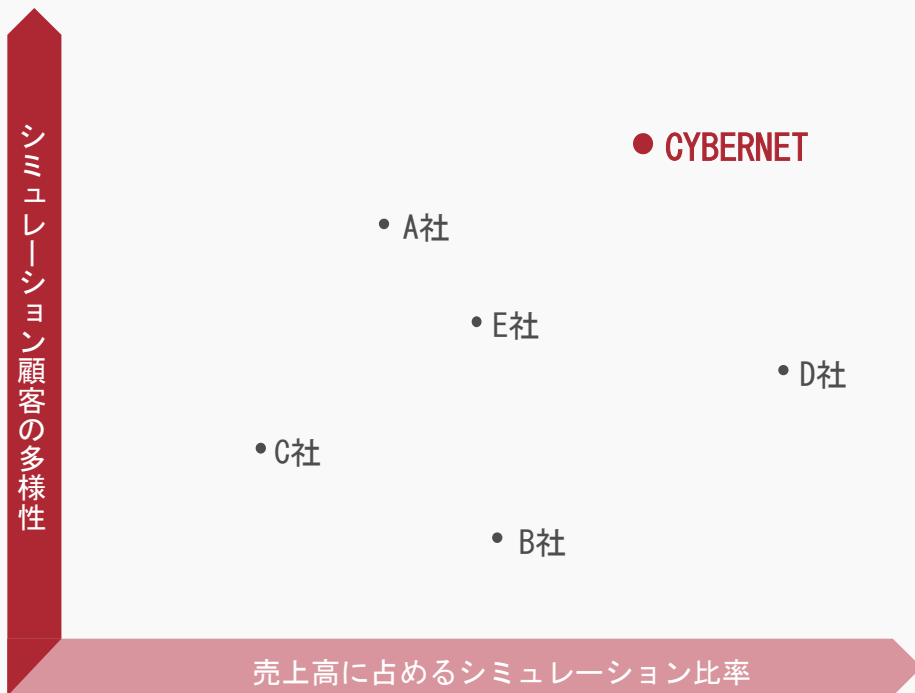
技術力、サポート力、ナレッジ提供力、モデリング支援力等が当社の競争力の源泉です。



※1食品・非製造業を除く上場企業の売上上位100社について過去3年の実績 (2021年3月現在)

※2モデリングとはシミュレーション・ソフトウェアを活用して、物理法則等にしたい物理現象等のシミュレーションモデルを構築、解析することです。経験豊富なエンジニアによる支援が不可欠です。

シミュレーションへの専門度の高さ、広い顧客領域が当社の特長です。



※ 各社IR資料をもとに当社作成

サイバネットシステムの特長

- 高い専門性技術を備え、幅広いシミュレーション領域をカバー。
- 約2,600企業&500大学・研究機関のユーザーに提供。
- これまではモノづくり向けにシミュレーションを提供してきたが、モノづくり以外の分野向けにも注力。

数字で見るサイバネット

① 豊富な実績 高い信頼

日本での
実績 **36**年

米国スーパーコンピューター会社の東京拠点が原点。一貫して製造業の開発・設計シミュレーションを支援。

② シミュレーションの リーダー

機械系
CAE市場 **国内1**位

日本市場での機械系CAEソフトウェア販売1位。

③ 技術に強い人財

エンジニア
比率 **45%**

グループ社員の45%がエンジニア。
コンピューター知識と工学知識、経験が強み。

④ 積極的なナレッジ提供 CAEユニバーシティ開催¹

116回/年

他社にはない当社独自の取り組み。シミュレーションの実務者に質量ともに圧倒的な学びの場を提供。

⑤ 最強のCAE製品開発 ベンダーと良好な関係

当社が取扱う
ANSYS社のCAE製品 **世界1**位

ANSYS社はCAE製品世界シェア35%のトップ企業。同社の最高レベルパートナーに7年連続で認定。

⑥ 強固な財務体質

ネット金融
資産² **160**億円

強い財務体質により、成長投資と株主還元の両立が可能。

⑦ 安定かつ高い株主還元

DOE（自己資本配当率）

6% ← **3%**

DOEを6.0%に変更し、中長期の増配を目指す。
(2022年12月期より変更)

※ 2021年12月31日現在

¹ 当社で開催しているCAEのセミナー。

² 現預金＋有価証券＋短貸付金－有利子負債

ビジョン、ミッション

VISION

ビジョン

(将来のありたき姿 (存在意義))

技術とアイデアで、社会に
サステナビリティとサプライズを。

MISSION

ミッション

(ビジョンに向けて、現在の事業を通じて果たす役割)

想像を超える、創造力で、
課題のブレークスルーを導く。

IR室

〒101-0022 東京都千代田区神田練塀町3番地
TEL 03-5297-3066 FAX 03-5297-3609

E-MAIL

irquery@cybernet.co.jp

Webサイト

<https://www.cybernet.jp>

本資料は、投資家の投資の参考となる情報のみを目的としており、取引の勧誘を目的としておりません。
本資料は、当社業務によって得られた各種データに基づいて作成したのですが、その安全性を保証するものではありません。
また、資料に記載された意見や予測は資料作成時の当社の見通しであり、当該意見、予測等を使用した結果についてもなんら保証するものではありません。
記載された内容が予告なしで変更することもありますのでご注意ください。
投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断でなされるようお願いいたします。